



茶の里



発行日：令和6年10月1日
 発行者：さはら小学校長 相田 清美
 さはら小学校だより 第9号
 TEL 0295-78-0009

【運動会の練習から】

全体練習・ブロック練習、一つ一つの種目に一生懸命練習する子供たち。そこには、いろいろな気付き・喜びなど成長する姿が見られます。これらの瞬間に立ち会える我々教職員は、とても幸せです。

命名「さはらソーラン」

今年度は、子供たちの話合いの結果、昨年度まで全校で踊っていた「よっちょれ」ではなく「南中ソーラン」を踊ることになりました。動画を見ながら各学年で練習を重ね、いざ、全体練習。昨年もお世話になった、子育て支援ネットワークの船木裕美子先生にお越しいただき、練習を見ていただきました。

「南中ソーラン」は鳴子を持たないけれど、さはら小では持ってやろう。最後はかっこよく隊形を変えてみたらいいのでは？等々、子供たちと船木先生のやりとりがあり、この踊りはどこもやっていない踊り方だから「さはらソーラン」と名付けていいのでは？との提案が。北海道から沖縄まで、全国の「よさこい」を指導してきている船木先生のお墨付きをいただき、「さはらソーラン」が誕生しました。ぜひ、10/5（土）本番を楽しみにおいでください。



一生懸命な姿は心に響きます

体育館でのさはらソーラン練習。3年生の斗蒼さん、4年生の勇人さんが大きな声でかけ声をかけ、上手に踊っていたので、ステージに上がって踊ってもらいました。恥ずかしさもありませんながら一生懸命踊り、それを見ながら全員で踊りました。どこが良かったのか、みんなで感想を言い合うと、「足の上げ方がすごい上手」「かかとがきちんと上がっていた」「後ろまで顔を向けていた」等々、友達の良かった点がいくつも出てきました。その後は、それらを意識して踊ろうとする姿が見られました。

また、別の日。畑や花壇の整備をして、収穫後の枝を捨てにいく姿。

一生懸命な姿は人の心に感動を与えます。



できた！！できた！！

1・2年生は、「走って くぐって じゃんけんぼん」のハードルを飛び越える練習をしていました。「ぼく、飛び越えるのが怖いんだよ」と言っていたK君。先生に教わりながら練習していると、やっと跳び方が分かったらしく「できた！！」「先生！できた！」と満面の笑み。「やったー！良かったね！」と先生。それからは、ハードルをまたぐのではなく、自信をもって軽々と跳んでいました。これぞ体験からの学び。学びを獲得したときの喜び。そして称賛。このような体験一つ一つが子供たちの自己肯定感を育み、次の学びへとつながると思っています。

耳を澄ますと、「できて良かったね」「すごいじゃん」と、友達の頑張りを素直に喜び、相手に伝えていました。小さい体で様々な事にチャレンジし、友達のがんばりを認め励ますことのできる子供たちです。



ジャンボカボチャコンクール出品

9/22（日）あいにくの雨の中、町長さんをはじめとする来賓の方々もおいでの中、茶の里公園で「ジャンボカボチャコンクール」が開催されました。学校の体育館脇で育てたカボチャも出品させていただき、大きなカボチャたちの仲間に入れていただきました。

重量部門で学校のカボチャは、かわいらしく5.76kg。最も重いカボチャは、なんと9.3kg！本郷区で育ててたくさん出品している国谷さんから育て方を教えていただいたので、来年は50kgを目指します！



さはら小産

【お知らせ】

10/5（土）実施の場合は6:00に打ち上げ花火が合図となります。皆様お誘い合わせの上、お越しく下さい。

